

ツル類のねぐら環境への啓発看板の設置

ツル類のねぐら環境への啓発看板

吉野川の河川区域において、ツル類のねぐら環境への立ち入りの配慮を求める啓発看板の設置に向けた検討を進めています。

目的

吉野川では、ナベヅルが砂洲をねぐらに利用することが確認されているが、落ち鮎漁や遊漁、散歩等での人の立ち入り、また四駆車やオートバイ等の乗り入れによって、ナベヅルが飛去してしまうという問題が指摘されている。河川敷の利用者に対して啓発看板を設置し、ツル類が飛来する10月～翌年3月の人や車両の河川敷への立ち入りの配慮を求める。

対象

河川敷の利用者

看板のサイズ

A1(594×841ミリ)を想定

看板の記載内容

ツル類の河川でのねぐら利用の写真を示し、看板を見た方にツル類への関心を持ってもらえるよう、ナベヅルの解説を加えた。

ツル類の越冬に関するお願い

ツル類の保護のため、下記の時期・時間帯の河川敷への立ち入りについてご配慮・ご協力をお願いします。

時 期：10月～3月

時間帯：

日の入1時間前～日の出1時間後



写真提供：日本野鳥の会徳島県支部

■ナベヅル



ナベヅル(環境省レッドリスト:絶滅危惧II類)は、秋になると日本へ渡って来ます。かつては日本各地で冬を越していましたが、乱獲や環境の変化により、現在は非常に限られた地域でしか越冬できていません。

吉野川周辺では、ナベヅルが定期的に飛来し、河川敷や田んぼを利用しています。吉野川の河川敷は、ナベヅルの重要なねぐら環境ですが、ツル類は警戒心が強く、人や車が近づくと飛び立ってしまいます。

ナベヅルが安心して暮らせるように、国や自治体、市民団体等が連携・協働して保全活動を進めています。

吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会
事務局：国土交通省徳島河川国道事務所地域連携課 (TEL:088-654-9175)

啓発看板(案)

啓発看板の設置箇所候補

啓発看板の設置は、「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」で、ツル類のねぐらの拠点事業候補地として位置づけられている以下の箇所のうち、「ツル4」、「ツル5」、「ツル6」、「ツル9」を想定しています。

